



発行 登米市吉田公民館

TEL:0220-55-2124

吉田コミュニティ運営協議会

(指定管理者 吉田コミュニティ運営協議会) FAX:0220-55-4528

平筒沼ふれあい公園の指定管理者

吉田コミュニティ運営協議会が8年間にわたって受託してきた平筒沼ふれあい公園の指定管理について、今年度末で撤退することはお伝えしていましたが、令和6年度から『よねやまスポーツクラブ (Tel0220-23-9881)』が指定管理者となりますのでお知らせします。

公園管理棟 YOUYOU 館の電話番号は従来通り0220-55-4007で、変更はありません。

また、ご不便・ご迷惑をおかけしておりました、浮棧橋の改修工事が完了し、通行できるようになりました。皆様のご理解・ご協力ありがとうございました。

平筒沼の桜写真コンクール

6点のそれぞれ違った雰囲気の中平筒沼の桜の写真の応募があり、厳選なる審査の結果、最優秀賞は「桜を愛でる橋」迫町の方の作品となりました。作品は4月21日(日)まで平筒沼 YOUYOU 館にて展示しておりますので、ぜひ足を運んでみてください。また、桜の写真コンクールの作品以外に「平筒沼に生息するトンボ」も展示しておりますので、ご覧ください。

来年度は平筒沼の四季をテーマにした写真展の開催を予定しております。たくさんの応募お待ちしております。



最優秀賞「桜をめでる橋」



優秀賞「春の沼面を彩る」



優秀賞「春の休日」



表彰式の様子

女性サークル 第6回学習会並びに閉級式(2月29日)

楽級生10名が参加し、今年度最後の学習会を開催。シフォンのいえ楽楽(らら)野家数夫氏を講師に迎え、バイクドチーズケーキとカスタードプリン作りに挑戦!!先生の丁寧なご指導のもと、一生懸命調理してました。完成したチーズケーキとプリンをみんなで試食し、お腹いっぱい学習会を終えました(^_^)



男の料理 第2回学習会並びに閉級式(3月4日)

第2回学習会は「中華料理を学ぼう」と、さしゅんの佐藤嘉彦氏を講師に迎え、八宝菜、チャーハン、卵スープの作り方を学びました。チャーハンは全て各自で調理し、八宝菜は2グループで調理しました。チャーハンを作る際、フライパンを巧みに動かす人もいれば、丁寧に混ぜる人もいて、互いに褒め合い(!?)和気あいあいと調理してました。

出来上がった料理はみんなで「美味しい。」「ちょっと塩味が効きすぎ。」「腹一杯!」等と感想を述べながら平らげ、最後は鍋やまな板はもちろん、食器も綺麗に洗って片付けて今年度の学習会を終了しました。



先人大学 第5回学習会並びに閉級式(3月5日)

今回の学習会第1部として、明治安田生命仙台支社の奥野部長をお招きし、遺言書の必要性や書き方等詳しく教えて頂きました。学級生は、「既に家族に相続しているので関係ないが、勉強になった。」「遺言書の必要を改めて感じた。」等と真面目に話を聞いていました。

第2部は、登米町の鈴木隆彦氏に氣功、ラフター(笑い)ヨガ、昔話等「健康に過ごす」ために体のツボと笑顔の大切さを学びました。学級生は、「短い時間だったが体が軽くなった。」「声を出して笑ったので体も暖かくなり、とても良い学習会でした。」と笑顔で1年を締めくくりました。



健康スポーツ 第5回学習会並びに閉級式（3月13日）

今回は、冬場でも水分摂取がいかに大切かを学びながら、ストレッチングや音楽に合わせて体を動かしました。

いつも通りではなく、大ホールの道路側、後ろ側、廊下側を正面にして少し緊張感を分け合い、なおかつ楽しく運動しましょう。と先生が移動しながら、学級生は笑いや緊張した趣で運動していました。

先生からは、その時だけでなく少しずつの積み重ねが大切です。テレビを見ながらでも、ちょっとした家事の合間でも思いだしたら体を動かす癖をつけて筋力強化に努めて下さい。それが怪我予防になります。と説明され今年度の事業を終了致しました。



歴史講座 第7回学習会並びに閉級式（3月14日）

今年度の閉級式を兼ねて学習会を開催しました。今年度学級生は32名にまで増え、今回も22名が出席しました。令和5年度に学習した総まとめとして、山・町吉田地域を流れていた北上川について、視聴覚教材やドローン空撮動画などを使って学習しました。来年度は中世（鎌倉・室町時代）の館跡などに焦点を当てて学習する予定です。



平筒沼クリーンアップ作戦（3月16日）

令和5年度2回目のクリーンアップ作戦を登米市環境市民会議と豊里コミュニティ推進協議会と合同で開催。当日参加者もあり61名と多くの方々にご協力いただきました。

左右2ルートに分かれ、遊歩道を一周し作業してきました。遊歩道は、普段から清掃人が掃除をしているので、ゴミは少なかったのですが、沼際は空き缶やペットボトル（中身液体入り）等のゴミが多く、タイヤ、消火器もあり、今回の作業で可燃ゴミ24kg、不燃ゴミ24kgのゴミを回収しました。



室内グラウンドゴルフ決勝大会（3月21日）

今年度最後のとしよりの居場所づくり室内グラウンドゴルフの決勝大会を開催。決勝大会は登米蔵シヤムを会場に行いました。準備運動、選手宣誓をし、いざ試合開始(^)/ 24名の選手の皆さんがチャンピオン目指して、気合を入れて試合に挑んでいるように見えました(^)

いつもと同様に賑やかな雰囲気の中でのプレーで、ボールに向かい『そっつでねんだ〜こっつだよ!』『ゆぐどきげ〜!!』等の面白おかしい声も飛び交いながら、あっという間の楽しいひと時となりました。グラウンドチャンピオンは浅井恵代子さんでした。

今年度のとしよりの居場所づくりは、終了となります。令和6年度も、冬期健康増進事業として室内グラウンドゴルフを計画しておりますので皆さん、是非ご参加ください。



吉田コミュニティ運営協議会理事会（3月22日）

令和6年度を初年度とする5か年計画である吉田地区地域づくり計画書について、計画内容が報告され、同計画に基づく令和6年度の地域づくり事業や公民館事業の事業計画について協議し、承認されました。

登米市で制定した公民館や体育館などの公の施設利用に関するガイドラインが令和6年度から施行されることに伴って、当コミュニティが管理する施設での取扱いについても報告しました。利用団体には市が制定したガイドラインと併せて配布することにしてあります。必要とする方は公民館までご連絡ください。

また、今年度限りで退職する渥美館長の後任館長を採用する案も承認され、4月1日付けで採用することになりました。新館長は、みやぎ登米農業協同組合を3月末で退職する中新田行政区の加藤孝浩さんです。どうぞよろしくお願ひいたします。

館長の戯言（ざれごと）No. 29 「べこ・べこ」 参考図書：「とうほく方言の泉（下）」

当地方で使われている方言の謂われを紹介して今回が29回目となりました。古い時代の都の由緒正しい言葉が方言として残っていて、生きている文化遺産であること、言葉は都を中心に同心円状に地方に伝わること、ある研究では伝わる速度は1年間に約1km、都から600km離れていれば600年かかることなどを前提にして書き記してきました。

今回は、東北地方で発生して東北地方だけで使われている方言の代表格「べこ」です。なんとも愛嬌のある呼び方です。ワンと鳴くから「わんこ」、ニャンと鳴くから「にゃんこ」、ベーと鳴くから「べこ」です。牛はモーと鳴くと学校で習ったので、モーと鳴くのが「牛」で、ベーと鳴くのが「べこ」と言いたいところですが、同じ鳴き声でも聞く人の受け取り方で違ってしまふ、にわたりの鳴き声は日本語でコケッコーですが、英語ではクックドゥドゥドゥと同じようなものです。東北地方の人にはベーと聞こえていたことによります。昭和30年代までは大きな農家には農耕用の牛が飼われていました。大切な存在として一緒に生活してきた東北ならではの方言と言えることとです。

今回が「館長の戯言」最終回です。コラムをお読みいただきありがとうございました。私事で恐縮ですが3月末で公民館を退職します。定年帰郷して3年間、公民館長を勤めさせていただき、地域の皆様のご協力により勤め上げることができました。故郷へいくばくか恩返しできたかなと思います。大変お世話になりました。感謝申し上げます。そして、ありがとうございました。

人口減少が著しくなる昨今、共助組織たる地域コミュニティを維持していくためにも、公民館事業や地域づくり事業へのご理解とご参加を切にお願い申し上げます。